

阿寒湖畔エコミュージアムセンター施設案内パンフレット

阿寒湖畔エコミュージアムセンターについて

阿寒摩周国立公園は 9 万 1413 ヘクタール（914.13 平方キロメートル）もの総面積を誇る国立公園です。公園内は屈斜路湖と摩周湖を取り囲む東の摩周湖エリアと、阿寒湖を中心に広がる西の阿寒湖エリアから構成されています。阿寒湖畔エコミュージアムセンターは阿寒湖の南部に位置しており、巨大な原生林や壮観なカルデラ湖、湿地帯、独自の動植物など、公園内に広がる豊かな生態系を観光客に案内するために設立されました。ここでは詳細な展示や地図、体験型アクティビティを通して、阿寒摩周国立公園内の火山や野生動植物についてたくさんの情報に触れることができます。

ボッケ遊歩道

全長 1.5 キロメートル（約 1 マイル）のボッケ遊歩道は、阿寒湖畔エコミュージアムセンターと阿寒湖にあるまりもの里栈橋を結ぶように伸びており、遊歩道では泥火山を見ることができます。「ボッケ」という名前はこの泥火山を指すアイヌの人々の言葉であり、「煮え立つ」という意味があります。さらに、遊歩道はエゾマツやトドマツなどの針葉樹林やカツラやミズナラなどの広葉樹が広がる森へと続いています。コース自体は比較的平坦で急勾配もなく、年齢問わずお散歩気分で歩けます。また、時おりエゾシカやリスなどの野生動物も目にすることができます。

森のこみち

森のこみちは阿寒湖畔エコミュージアムセンターの裏山を囲むように伸びたコースです。ゆっくりと歩いて、一周約 30 分ほどかかります。また、このコースの途中で木製の階段を経由すれば、ボッケ遊歩道まで足を伸ばすことができます。階段の手前には、阿寒湖と雄阿寒岳を一望できる展望台があります。

阿寒湖エコミュージアム裏手の木道

この専用木道は、エコミュージアムセンター裏手の湿地帯へ伸びています。4 月後半から 5 月の半ばには、阿寒湖の春の訪れを告げる水芭蕉（白色のアメリカミズバショウ）が辺りに咲きます。また、ヤチダモやセイヨウハシロキなどの木々の間を散策することもできます。

アクティビティサロン

エコミュージアムセンターのメイン展示スペースにあるアクティビティサロンでは、視覚や聴覚、触覚を通して阿寒湖エリアの生態系を学ぶことができます。サロンの床には、国立公園の湖や森を写した上空写真が敷き詰めら

れています。施設内では虫の鳴き声が流れており、展示されている動植物の標本に直接触れることも可能です。

インフォメーションサロン

エントランスにあるインフォメーションサロンには、国立公園内の火山活動やクマの目撃情報などの重要な掲示やお知らせが掲載されています。登山道の散策に出発する前には必ずサロンに掲載されている最新情報をチェックし、注意事項を確認しておきましょう。雌阿寒岳における火山活動など、観光客がチェックすべき情報に関しては、「活発化」から「避難」までのレベルがわかりやすくチャートにまとめられています。また、コースの閉鎖状況や規制状況もここで確認できます。

水槽展示

アクティビティサロン内には、マリモやベニザケ、イトウなどの阿寒湖に生息する貴重な海洋生物を飼育した水槽が設置されています。阿寒湖は自然環境の中で丸く大きく成長する藻が生息する世界でも数少ない場所であり、マリモはその保護対象の生物です。ベニザケとイトウはどちらも鮭の一種ですが、イトウに関しては絶滅危惧種に指定されています。エコミュージアムセンターは間近でこれらの生き物を目にすることができる数少ない場所なのです。

憩いのサロン

阿寒湖畔エコミュージアムセンター内には、リラックスして休憩できる快適なラウンジが完備されています。ラウンジからはセンター裏の森を一望できます。快適なソファや動物の木彫りなどが設置され、肌寒い日には暖炉で暖まることができます。ご自身で食べ物や飲み物を持ち込み、ラウンジで食べるのもいいかもしれません。

クラフトと展示サロン

クラフトと展示サロンには、伝統的な美術品やこの土地のクラフトが陳列されています。また、この土地の自然保護活動についての展示や、阿寒摩周国立公園のビデオがあります。エコミュージアムでは、時々、子供向けのクラフトアクティビティを提供しています。ここを訪れた人たちが楽しめるものがたっぷりありますので、天候が悪くてアウトドア活動ができない場合などには特に適した場所だと言えるでしょう。

レンタル用品

エコミュージアムの受付では季節に応じたアウトドア用品をレンタルでき、ポッケ遊歩道や他の阿寒エリアでのトレッキングを楽しめます。レンタル用品は、冬の野外活動として人気のある長靴やスノーシュー、クロスカントリース

キーのレンタル料金は 2 時間で 500 円、終日で 1000 円となっています（レンタル用品の数には限りがあります）。